



上野公園の桜(庄原市)

会報



庄原ロータリークラブ

SHOBARA ROTARY CLUB

2012~2013年度

- 例 会/火 曜 日 12:30 庄原グランドホテル
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
- 事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp
- 会長/滝川 聖治 ●幹事/田邊 良三

2012年11月13日例会記録

16号(866)

■2012年11月20日のプログラム

ロータリー財団委員会担当

■次回のプログラム

ガバナー補佐訪問

会長挨拶 滝川会長



「温故知新」

皆さん今晚は。今晚は「温故知新」についてお話いたします。

「温故知新」とは「古きを尋ねて新しきを知る」と言うことですが、最近中国人の経営者が日本の道徳という価値観を研究しているそうです。そのお手本は皆さんご存じの「二宮尊徳」でして 上海では彼の研究発表会が数回開催され大盛況だそうです。

昔は中国にも孔子や孟子という賢人がいて、四書五経や論語等日本人が学んだものです。不思議ですが、今は逆なんですね。

何故、二宮尊徳を研究しているかですが、最近の中国には大きな経済格差があり、経営者は拝金主義に陥り、人心が荒廃し失われた倫理観や道徳観を取り戻すために、日本の賢人を中国の人類学者が研究したところ、彼が適当と判断したらしいです。

二宮尊徳の名前は皆さんよくご存じですが、彼の業績はあまりご存じ無いと思います。彼は藩の役人で農村を復興し、藩の財政を立てなおした財政再建のプロだそうです。

彼は「道徳無き経済は犯罪であり、経済無き道徳は寝言である。」とっています。つまり経済という人間の本質的な営みを見捨てては、道徳も机上の空論に終わることを知る現実主義者だったらしいです。

松下幸之助が定めたパナソニックの綱領にも同様の事が定めてあるそうです。それは「経済と道徳は矛盾しない。なぜなら経済活動を盛んにすることで社会に貢献でき、企業は道徳的にも完成に近づく。」とあります。

これらはまさしくロータリアンの価値観である「職業奉仕」であり、「超我の奉仕」や「4つのテスト」そのものであると思います。

経営者はともすると利益を最大化するという欲望を持っていますが、これを律する道徳が無ければ市場経済は宿命的にバブルへ向かいます。

日本企業も今こそ日本流経営の道徳律という価値観を復活すれば、経済と道徳のバランスが取れ、欧米の経済合理性に追従することなく、経済の混迷期のイニシヤティブが取れるのではないのでしょうか。

経営者の皆さんを前にわかったようなことを言ってご免なさい。

以上で会長の時間を終わります。

奉仕を通じて平和を

2012~2013年度RI会長
田中作次

幹事報告

1. 本日の配布物・・・①ロータリーの友 11月号

出席報告

会員数 36名 出席者 21名 MU12名
欠席者 3名 出席率91.66%

スマイル報告

児玉会員・・・庄原こどもミュージカルの公演が好評のうちに終わりました。後援ありがとうございました。皆さんの応援で来年もできそうです。
住田会員・・・こどもまつり、大変お世話になりました。突然の大雨にも関わらず2,000名の参加で盛り上がりました。

■会計

石田会計

11月20日(火)2期分の会費を引き落としさせていただきますので、宜しくお願いします。

■ゴルフ同好会

竹田幹事

11月11日に開催されました、G12親睦ゴルフ大会に於いて、庄原RC団体2位、個人の部では、田邊会員が3位でした。ご協力ありがとうございました。

■プログラム

健康サポート委員会担当



会員卓話

健康サポート委員会 委員長 児玉 節

11月2日格致高校で中山間地医療の問題点というシンポジウムがありました。日赤の中島先生、看護師、作業療法士、臨床技師・ふるさと卒入学医学生・格知高校卒業生として私がパネリストとして登壇しました。中島先生からは4・5年前の庄原日赤の危機の話があり、医師の派遣がなくなり、慢性疾患病院に転落する恐れがあったこと。それをどうやって立て直していったかという話がありました。麻酔科の医師がいなくなり、外科系の医師があつという間にいなくなり、医師が27名になった言うことです。これでは手術ができず、救急医療ができない。何とか麻酔科の医師を確保し、外科・眼科・耳鼻科・脳外科・整形外科がなくならずに済んだということでした。そのほか、設備を充実し、魅力ある病院にし、患者さんだけでなく、医師やスタッフが来てくれるようにした。それとともに、県や市の援助も大いに助けになったということです。現在医師は36名になっているということです。いずれにしても人材育成が大切で、地域医療で頑張る人になって欲しいと格知高校で訴えておられました。産科の問題についても、現在真剣に取り組んでいるということでした。

私は、生徒に故郷の医療を守るのは自分たちしかないという、自覚を持って医療関係に進んで欲しいと訴えました。庄原市の医療関係の助成金の他、県の対策としてふるさと卒入学試験があつて「センター試験と面接だけで入学が決まること。月20万円の奨学金がでる。」なんとか、これに頑張つて挑戦し、入学してください。格知高校からでも広島大学の医学部に入れるということを示し、後輩の先達となつてくれ、それが格知高校の生き残る道だとも発破をかけておきました。

これからも日赤病院の援助よろしくお祈りします。

それと、ラグビーの話です。ラグビーの練習を通して、体力・持久力・負けじ魂が育ち私のバックボーンはここ格致高校のグラウンドで出来上がったと追加しておきました。

ラグビーと申しますとこの度、ノーベル賞を受賞された山中教授も神戸大学でラグビーをされていたそうです。山中教授らが作られたiPS細胞はいろいろな細胞に分化できる機能を有しており、治療や薬効効果の判定、病気の成立過程の研究などへの応用が期待されています。